

2009
大阪府障がい者芸術・文化オープンカレッジ受講生

募集案内

自分だけの表現を求めて
芸術体験、はじめませんか。

主催	財団法人 大阪府地域福祉推進財団 国際障害者交流センター（ビッグ・アイ）
応募・ 問合せ先	国際障害者交流センター（ビッグ・アイ） 大阪府堺市南区茶山台1-8-1 電話(072)290-0974 FAX(072)290-0972 Eメール proj@big-i.jp

大阪府障がい者芸術・文化オープンカレッジ 参加者募集

専門講師の指導による「演劇」「ダンス」「音楽」の講座（オープンカレッジ）を開催します。
初心者の方からご参加いただけます。奮ってご応募ください。

【演劇コース】 午後1時30分～4時30分

講座日 7月25日(土) 8月8日(土)
9月12日(土)・22日(火・祝)・27日(日)
10月12日(月・祝)・17日(土)
内容 1・2日目 コミュニケーションゲームで遊ぼう
3・4日目 切りかたがをつなげてみよう
5・6日目 劇を見つけよう
7日目 練習を重ねよう

【ダンスコース】午後1時30分～4時30分

講座日 7月25日(土)
8月8日(土)・16日(日)・22日(土)
10月10日(土)・11日(日)・17日(土)
内容 1日目 気付いてみよう
自分のからだ、相手のからだ...動いて・踊って
どんなことが、たくさん試してみましょう。
2・3日目 自分なりに踊ってみよう
身近なものや音や人が、自然に「あなたの中のダン
ス」を引き出してくれます。
4・5日目 創ってみよう
一つの空間に「ひとりひとりの存在」が重なって、
素敵な「ダンス」が出来ていきます。
6・7日目 本番に向けて仕上げよう

【音楽コース】 午後1時30分～4時30分

講座日 7月12日(日) 8月2日(日)・23日(日)・
30日(日) 9月23日(水・祝)
10月12日(月・祝)・17日(土)
内容 ・歌うための技術の向上を目指しましょう。
・本格的なボイストレーニングを通じて歌うた
めに必要な技術を身につけましょう。
・パートに分かれてコーラス(ハーモニー)の
練習をしましょう。
・ピアノやドラム、ベースを交えて体験ライブ
実習をしましょう。
・課題曲を決定し、フェスタに出場しましょう。
(受講人数などにより、グループ分けを行った上で、
講座を実施する場合があります。)

【障がい者芸術・文化フェスタで発表！！】

各コース10月17日に、直前の練習をします。
カレッジの練習の成果は、10月18日(日)に開催
される「大阪府障がい者芸術・文化フェスタ2009」
において発表します。

各コースの時間・内容は一部変更となる場合がありますので予めご了承ください。

開催場所：国際障害者交流センター（ビッグ・アイ） 研修室 / 多目的ホール

応募条件：下記の条件にすべてあてはまる方

身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳のいずれかをお持ちの方
介助の必要な方は、介助者の同伴をお願いします。

大阪府在住或いは大阪府内で勤務されている方

定員：演劇コース 15名 / 音楽コース 25名 / ダンスコース 25名

参加費：無料

応募締切：6月22日(月)

オープンカレッジの応募・問合せ先

応募方法：別紙の応募用紙に必要事項を記載のうえ、郵送又はFAXにより申し込んでください。

《応募先》〒590-0115 大阪府堺市南区茶山台1-8-1

ビッグ・アイ「オープンカレッジ」係

FAX 072(290)0972

参加にあたり、予め障がいの種別・程度などを把握する必要
がありますのでご協力ください。

《問合せ先》財団法人 大阪府地域福祉推進財団

国際障害者交流センター（ビッグ・アイ）

TEL (072) 290-0974

Eメール proj@big-i.jp

電話受付時間 9:30～18:00 土・日・祝除く



難波から準急で約30分（南海電車・泉北高速鉄道利用）

応募用紙

コピー可

「大阪府障がい者芸術・文化オープンカレッジ 2009」

黒のボールペンでご記入ください。

ご本人が記入できない場合は、代理の方（保護者の方など）にてお願いします。

ふりがな		性別	男 ・ 女
氏名		年齢	才
	ふりがな	TEL	() -
住所 番地・号室明記	〒	FAX	() -
		Eメール	@
	連絡先 連絡の取りやすい電話番号（携帯電話・PHS・勤務先・メールアドレスなど）		
コース名	希望するコースに をしてください。 複数コースの申込みはできません。 各コースとも応募者多数の場合は、受講いただけない場合がありますのでご了承ください。第2希望のある方はご記入ください。	演劇・ダンス・音楽 第2希望 ()	
特記事項	<p>当日は記録のため、写真およびビデオ撮影があり、今後その写真等を大阪府の広報誌などに掲載することがありますが、承諾されますか？ (承諾する ・ 承諾しない)</p> <p>カレッジは基本的に参加者全体で行いますので、不安を覚える方や注意を要する方は具体的な内容とその対処法についてご記入ください。 (例)体温調節がうまくできないため、運動の際には随時休憩を入れてください。</p> <p>その他、疑問、不安及び要望等がありましたらご記入ください。</p>		
障がい種別	(例)視覚障がい者1級第1種		
介助者を伴う場合は、介助者の氏名・住所・電話・FAX・本人との関係をご記入ください。			

この応募用紙にご記入いただいた個人情報については、個人情報保護関係法令を遵守し、本事業の実施目的以外には使用いたしません。

なお、当センターの各種案内の送付について、下記のどちらかに 印をお付けください。

[今後の案内の送付を希望しますか。 希望する ・ 希望しない]

演劇コース 協力：NPO法人 大阪現代舞台芸術協会



講師 ^{いわ} ^{さき} ^{まさ} ^{ひろ}
岩崎正裕

劇作家・演出家。劇団太陽族主宰。伊丹市立演劇ホールA I・HALLディレクター。大阪現代舞台芸術協会(DIVE)理事長。1963年三重県生まれ。大阪芸術大学在学中の1982年、劇団大阪太陽族の旗揚げに参加。1990年に劇団名を199Q太陽族と改名、現在の劇団太陽族に至る。1994年に「レ・ボリューション」で第1回OMS戯曲賞佳作、1997年に「ここからは遠い国」で第4回OMS戯曲賞大賞を受賞。大阪市咲くやこの花賞、兵庫県舞台芸術奨励賞、大阪府舞台芸術奨励賞などを受賞。作品創作の他に、各地での戯曲講座やワークショップ講師を担当する。



講師 ^{やま} ^だ ^{かず} ^{ゆき}
山田一幸

演劇ユニット朱亜shu-A代表。1990年「アクションチームALBA(アルバ)」に所属。その間、アクションチームの母体である「演劇群翔」のアトリエ公演に参加。脱退後1998年「unit theater 爆烈幻獣」旗揚げに参加、全作品に出演。2003年「朱亜shu-A」と改名。深津企画、伊丹想流私塾卒塾公演、大阪現代演劇祭等の各プロデュース公演に参加。また、あうん堂、清流劇場、流星倶楽部、Ugly ducklingなど数々の劇団に客演。関西を中心に活動している。

ダンスコース 協力：ひきたま(音楽) 阿比留修一、NPO法人 ダンスボックス



講師 ^{しし} ^ど ^{のぶ} ^こ ^{なか} ^{にし} ^{けい} ^こ
クリアルテ(宍戸信子・中西恵子)

1995年、身体を通して感じる事、さらには身体を使った表現の重要性を痛感した二人が出会う。保育士経験を持ち「創造的な音と動きの教育」に出会った宍戸氏と、版画や朗読をし、演劇やダンス等多くのワークショップを学んだ中西氏という二人がそれぞれの特性を活かし、<からだ>を意識した音、動き、造形など総合的なワークショップを二人で展開。まず「そこに在る(いる)」ということを大切に、そこから起こってくることに気づき、

互いに楽しみ、独自の豊かな表現へと発展していくことを基本にしている。年齢や障がいの有無などの対象を設けることなく、福祉作業所、児童館など各所で活動。

講師 ^{すみ} ^じ ^ま ^ほ
隅地茉歩



成人後、踊りを始める。『源氏物語』の研究者からダンスの世界に転身。カンパニーダンサーとしての修行時代を経て、自分で振り付けることを始める。1997年阿比留修一氏とセレノグラフィカを結成、代表として現在に至る。日々の暮らしの中で目にすることのできるあらゆるものの動きをダンスとして捉え直し、多様な解釈を引き出す作風。ワークショップ活動にも意欲的に取り組み、参加者と一緒にカラダを探検していくことに大きな喜びを見出している。トヨタコレオグラフィアワード2005にて「次代を担う振付家賞」受賞。2006年秋以降、国内だけでなく、フランス、イギリス、韓国、オーストラリアでも作品を上演。

音楽コース

講師 ^{ふく} ^{もと} ^{きよし}
福本淳



1970年、京都府生まれ。先天性視覚障がいのため、視力回復手術を試みるも、19才で全盲となる。1993年、大阪芸術大学演奏学科声楽コースを卒業。その後、自作の曲を中心としたピアノの弾き語りによる演奏活動を展開。1994年、『福本ヒーリングスタジオ』を開設し、自らの体験をもとに、障がい児・者向けの楽器指導や音楽療法等の取組みを行う。福祉施設講師として知的障がい者の歌唱指導、また女声コーラス(生涯学習ルーム)の指導も行う。1998年ファーストCDアルバム『小さな出逢いから』、後にシングルCD『風をみたひと』をリリース。2000年、2004年には長居スタジアムにてセレッソ大阪公式戦のハーフタイムショーに出演。2006年、第3回ゴールドコンサート(東京国際フォーラム)にて【歌唱賞】【作曲賞】を受賞。2008年9月最新アルバム『未来のために』をリリース。現在、弾き語りやバンドによるコンサート活動、障がい者の音楽指導や支援に向けた活動を実施中。